

事業所自己評価シート

作成日	令和	7	年	10	月	20	日
事業所名	小規模多機能ホーム すまいる						

評価者の区分

① 管理者	1	人
② 当該事業所での実務経験年数が1年以上のスタッフ	12	人
③ 当該事業所での実務経験年数が1年未満のスタッフ	0	人
合計人数	13	人

【設問の評価について】

- A：十分にできている
B：ほぼできている
C：あまりできていない
D：ほとんどできていない

【設問の回答について】

番号に色が付いている設問について、評価者の区分が③に該当するスタッフは回答対象外となっています。

設問		事業所評価 回答状況				評価の理由（できている点、できていない点等）	地域 かかわり
		A	B	C	D		
1	前回の課題について取り組みましたか？	① 0	1	0	0	介護記録の見直しに関しては、一部のスタッフ間で相談していたが、完成には至って居ない。 情報の共有に関してはスタッフ間でも情報の収集・共有の必要性が理解出来ていたようだが、全スタッフにスムーズな共有は難しかった。 マニュアルの見直しは簡素化する事で、有事や日本語が難しいスタッフにも分かり易くなった。	設問2
		② 4	6	2	0		
		③ 0	0	0	0		
2	利用者の情報や日々の様子について、ミーティング等を通じて共有していますか？	① 1	0	0	0	会議ノート記録や毎朝のミーティングで情報共有は出来ているが、一時的な介護方法に関しては記録が無く、口頭での伝達となる場合があり、当日の勤務者以外は後日に聞くことがあった。	
		② 8	3	1	0		
		③ 0	0	0	0		
3	サービス利用時に、利用者や家族等が必要としている支援ができていますか？	① 1	0	0	0	利用者様にはほぼ毎日接する事ができて、介護に対する反応等で理解できるが、ご家族様が満足頂いているか確認できない。 面会時等に生活状況の報告や、支援計画書に対する不満等のご意見はない	
		② 7	5	0	0		
		③ 0	0	0	0		

設問		事業所評価					評価の理由（できている点、できていない点等）	地域 かわり
		回答状況						
			A	B	C	D		
4	訪問や通いでの声かけや気遣いができていますか？	①	1	0	0	0	通い時には必ず表情の確認やバイタル測定にて状態の観察をし、訪問時にも同様に観察を心がけている。 通いノートを活用し、自宅での様子や通い時の状態を記録し連携を図っている	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
5	利用者や家族等との円滑な関係作りができていますか？	①	1	0	0	0	入浴時等の個別に介護する時には会話を沢山取る様にしており、通いノートを通してご家族様にも報告をさせてもらっている。 ご家族様の来所時には利用者様の生活状況の説明をさせてもらっており、来所が少ないご家族様にも電話での連絡を行っている。	設問12
		②	9	3	0	0		
		③	0	0	0	0		
6	ケアプランで位置づけられた利用者の目標等はわかっていますか？	①	0	1	0	0	生活アセスメントシートのも目標を記載しているが、中には日々の介護で忘れていた事がある	
		②	9	1	1	0		
		③	0	0	0	0		
7	利用者の自宅での生活の様子(趣味や生活スタイル、家族構成等)を把握できていますか？	①	1	0	0	0	利用者様とのコミュニケーションを取る中で、生活状況を把握しようとしているが、不十分だと感じている。 ご家族様との連絡時に、情報収集を図っている。	
		②	6	6	0	0		
		③	0	0	0	0		
8	利用者の居心地が良くなるよう、生活環境等工夫していますか？ （明るさ、装飾、生活音、清潔さ等）	①	1	0	0	0	生活環境のベット周囲の清掃整理、汚染物は速やかに処理したり、換気等の配慮をしている。 利用者様の年齢や疾患から考え安全で落ち着きの有る環境を心掛けている。	設問4 設問5
		②	8	4	0	0		
		③	0	0	0	0		
9	利用者の状況に合わせた食事や入浴、排泄等の介護ができていますか？	①	1	0	0	0	利用者様のADLを維持出来るように見守りし、利用者様一人一人に合った介護を、他のスタッフと日々考察と実施により、適切な介護となる目指している。	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		

設問		事業所評価				評価の理由（できている点、できていない点等）	地域 かわり	
		回答状況						
			A	B	C			D
10	利用者の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有し、即時的に支援できていますか？	①	1	0	0	0	利用者様のいつもと違う行動・言動・表情や顔色等を日々注意深く観察するようにしている。	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
11	ニーズに応じて、通い、訪問、宿泊のサービスは妥当適切に提供されていますか？	①	1	0	0	0	希望には対応できているし、ご家族様の介護負担が心配な状況時は、こちらからもサービスの提案をさせてもらっている。	
		②	11	1	0	0		
		③	0	0	0	0		
12	その日・その時の利用者の状態やニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	①	1	0	0	0	利用者様の体調や表情により、無理をしない様に支援しており、急変時の受診や救急搬送等の対応をしている	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
13	事業所だけで支えようとせず、民生委員や地域の資源を活用した支援を行っていますか？ （※地域資源とは：傾聴ボランティアや体操教室、地域住民との交流会などのインフォーマルサービス）	①	1	0	0	0	事業所内の訪問は制限中で、頻繁な交流は出来ていませんが、町内会の行事にスタッフがお手伝いに行ったり、お祭りへの参加もさせて頂いている。また、在宅の方の安否確認や見守りの為に配食サービスやふれあい収集を使わせてもらっている	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
14	【管 理 者】運営推進会議を年6回以上開催するなどをして地域の意見等を聞く機会を確保していますか？ 【スタッフ】事業所は、運営推進会議を開催するなどをして地域の意見等を聞く機会を確保していることを知っていますか？	①	1	0	0	0	1回/2ヶ月で開催しており、町内会の方々や地域包括・市役所介護福祉課の方も参加して頂き、施設内の報告と地域等の情報交換が出来ている。 スタッフの中には、会議の開催は知っているが、目的を理解していなかった者がいた。	設問7 設問8
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
15	事業所は、地域の各団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントを把握し、積極的に参加していますか？	①	0	1	0	0	コロナ前とまではいかないが、お祭りやふれあいサロンへ参加させてもらっている。	設問11
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		

設問		事業所評価				評価の理由（できている点、できていない点等）	地域 かわり	
		回答状況						
			A	B	C			D
16	事業所は、その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の事業所)と必要に応じて協力していますか？	①	1	0	0	0	継続的な福祉用具のレンタルや相談・購入をしており、看取り時には協力医の往診や訪問看護のサービスも受けている。	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
17	事業所は、登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が訪問しやすい雰囲気になっていますか？	①	0	1	0	0	事業所はまだ制限中ではありますが、看取りの方のご家族様や、近隣の保育園の園児訪問は定期的にうけいれている。	設問6
		②	9	3	0	0		
		③	0	0	0	0		
18	【管 理 者】職員が意見や要望を伝えやすいよう配慮していますか？ 【スタッフ】事業所の管理者等に意見や要望を伝えることができますか？	①	0	1	0	0	業務の空いている時は現場に行き、コミュニケーションを取る様に心掛けている。 意見や考えを伝える事が苦手な事もあり、ある程度は伝える事はできるが、時には出来ない事もある	
		②	9	3	0	0		
		③	0	0	0	0		
19	利用者や家族、地域住民等から意見や要望等を運営に反映していますか？	①	1	0	0	0	利用者様のご家族様より要望があれば、検討し対応しているし、運営会議等でご意見がある時には前向きに検討しており、可能な限り対応している	設問8
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
20	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？（利用者の家族や登録者以外の方々から困りごとや相談があった場合、積極的に話を聞いていますか？）	①	0	1	0	0	地域の方と直接相談をお受けする事は少ないが、電話や訪問を受けた時には相談を受けたりアドバイスさせてもらっている。	設問10 設問12
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		
21	【管 理 者】職員が研修(職場内、職場外)に参加できるよう勤務体制等に配慮していますか？ 【スタッフ】事業所は職員のスキルに応じて研修（職場内、職場外）を受講できるよう配慮していますか？	①	1	0	0	0	研修の要望や計画がある時は、一人でも多くのスタッフが積極的に参加してもらっている。	
		②	12	0	0	0		
		③	0	0	0	0		

設問		事業所評価				評価の理由（できている点、できていない点等）	地域 かわり	
		回答状況						
		A	B	C	D			
22	【管 理 者】職員がキャリアアップに向けた資格取得等の取り組みができるよう配慮していますか？ 【スタッフ】キャリアアップに向けた資格取得等の取り組みができていますか？（事業所は配慮してくれていますか？）	①	1	0	0	希望がある時は、シフト調整や有休の活用をしてもらっている。		
		②	10	0	2			0
		③	0	0	0			0
23	【管 理 者】防災や緊急時、感染症に関する訓練や研修等を行っていますか？ 【スタッフ】防災や緊急時、感染症に関する訓練や研修等に参加していますか？（参加できなかった場合の情報共有はされていますか？）	①	1	0	0	家庭の状況で施設内研修に参加出来ないスタッフもいるが、マニュアルや記録等で確認してもらい、スタッフ間でも説明しあっている。	設問9	
		②	12	0	0			0
		③	0	0	0			0
24	【管 理 者】職員に事故事例と再発防止策について周知していますか？ 【スタッフ】事故事例と再発防止策について情報共有ができていますか？	①	0	1	0	ヒヤリや事故発生の内容を細かく、スタッフルームに掲示し、全員が情報共有しており、再発防止に繋がっている		
		②	11	1	0			0
		③	0	0	0			0
25	身体拘束をしていない。	①	1	0	0	施設内研修で注意喚起しながら、拘束し無い安全を常に注意している		
		②	12	0	0			0
		③	0	0	0			0
26	虐待やそれに準ずる行為が行われていない。	①	1	0	0	施設内研修で注意喚起し、スタッフ間でも注意している。		
		②	12	0	0			0
		③	0	0	0			0
27	利用者の羞恥心やプライバシーに配慮した声かけができていますか？（人前かつ大きな声で身なりの汚れ、着衣の乱れ、尿意及び便意等の声かけを行っていないませんか？）	①	0	1	0	トイレ誘導時は、具体的な内容を説明すると拒否に繋がる為、声掛けには注意している。 排泄物の直接的な表現はせず、記号で伝達や確認をしている。 更衣の乱れがちな利用者様には、常に小さな声掛けで整えているが、稀に離れて所から声かけしていることがあった。		
		②	11	1	0			0
		③	0	0	0			0

設問		事業所評価				評価の理由（できている点、できていない点等）	地域 かかわり	
		回答状況						
		A	B	C	D			
28	適切な個人情報の管理ができていますか？ （法人や事業所としての規約、守秘義務の誓約、個人情報利用の同意、その他取扱いに係るルール等が定められていますか？）	①	1	0	0	事務所や書庫で、施錠にて保管している。		
		②	12	0	0			0
		③	0	0	0			0

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 前回の目標

前回の目標		実際に取り組んだ内容・結果
業務の効率化の為に、介護記録の様式の見直しを図る。		介護記録用紙（生活アセスメントシート）の見直しを図ると目標を設定したが、一部では相談していた様でいたが試作段階で、全職員の意見交換等もされて居らず、完成までは至らなかった。
取り組み期間	2025年 7月頃まで	
利用者様の情報を、職員全員に周知する。		今迄以上に、申し送りノートの活用がされていました。 各会議時には新規利用者様の事前にかかる範囲の情報は提供し、これを基に各自が情報収集をする様になったが、他のスタッフに周知するまでには至って居なかった。
取り組み期間	2025年 10月頃まで	
災害や緊急マニュアルを中心に、マニュアルの見直す。		毎月のスタッフ会議でマニュアルの見直しをしており、一目瞭然を目標にして簡素化し、緊急時に確認し易くしてきました。 これにより、簡素化する必要性と方法を学べたと思います。 しかし、まだ一目瞭然に届いていない部分もあり、今後も継続的に見直しが必要と思われます。
取り組み期間	2026年 3月まで	
取り組み期間		

※目標については、時期、期間、取り組みの内容等をできるだけ具体的に記載すること。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 今回の目標

今回の目標		取組みの内容（予定）
利用者様1人1人が安心して生活を送れるよう支援する		別の利用者様で同じ対応をしても全く逆効果になる事もあるので、1人1人を日々しっかり観察し、情報の交換周知を行い、よりよい対応を目指す
取組み期間	2025年4月1日より2026年3月31日まで	
情報共有の徹底 「知らなかった」をなくす		口頭での伝達をなくし、お試しでも申し送りは全て記入する お試しの支援内容は、1週間前後で担当が今後の判断を上司と相談し再度申し送りする
取組み期間	2025年4月1日より2026年10月31日まで	
介護記録の記入漏れをなくし、効率化を図る		チェック欄・記入方法を再度見直し統一する
取組み期間	2025年4月1日より2026年3月31日まで	
取組み期間		

※目標については、時期、期間、取組みの内容等をできるだけ具体的に記載すること。